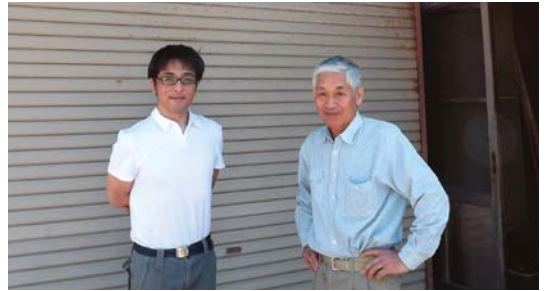


「まち」の企業訪問 元気じるし登場

235

今井建具店 (田上商工会)



高幸さん(左)と登さん(右)

「具店」を起業し、現在は主に木製建具、店舗什器、家具製造を手掛けている。

息子の高幸さんは高校を卒業してサービス業を経験した後、ポリテクセンター新潟(新潟職業能力開発促進センター)

で建具の専門知識を学び、平成2年に家業に入り今日に至っています。

厳しい業界

近年、建具業界全体として



燻煙煤竹を使った作品

職人の高齢化はもとより、住宅の洋風化の波で、日本古来の木製建具は減少傾向にあります。また昨今、建築会社から工事の「低価格化や短納期化」への対応も求められており、業者数の減少に拍車をかけています。

このような業界の厳しい現状の中、登さんや高幸さんは、それぞれ家業である建具の加工技術を活かした新たな取り組みにも挑戦しています。

竹を使った新たな取り組みにチャレンジ

登さんは、20年ほど前に、顧客である飲食店の経営者から店舗改装時に、竹を使用した店内装飾の相談に乗ったことがきっかけで、竹製の建具などを手掛けるようになりました。

現在では、竹の素材を生かした建具を製造したり、商工会の農商工連携事業の一つに位置付けられている、竹を人工的にいぶして作る、独特な鉛色が特徴的な「燻煙煤竹」の制作にも協力しています。将来的にはこの燻煙煤竹を活用した製品を手掛けたいと期待を膨らませています。

介護リフォーム事業にチャレンジ

一方、息子の高幸さんは、「お客様のニーズに合ったリフォーム提案」「顔が見え・小回りの利く業者」をモットーに、

新たな取り組みを行っています。これからの高齢化社会に対応するため、14年ほど前に「福祉住環境コーディネーター」の資格を取得しました。この資格は、高齢者や障害者に対し、できるだけ自立したまま、いきいきと生活できる住環境を提案するアドバイザー資格です。その知識を活かし、介護リフォーム店から住宅内での段差解消に伴う建具工事や手すりの取り付け等を受注するようになりました。



高幸さんの作業風景

その経験から、手ごたえを感じ、業者からだけでなく一般個人のお客様を対象を広げるため、介護リフォーム関連の仕事に直接受注できるように、今年度から本格的に取り組んでいます。

この事業内容の周知用チラシなどの経費の一部は「小規模事業者持続化補助金」を活用しました。高幸さんは、「アイデアがあってもなかなか踏み出せない、資金繰りに厳しい零細企業にとって、この補助金に採択されたことで、新しい事業を手掛ける決心ができた」と語り、申請に関しては、商工会の経営指導員からアドバイスをもらい、より実現可能な計画内容を作ることが出来たそうです。

親子2代に渡り、それぞれ新たな事業に向かってまい進する、今井さん親子の今後の活躍に期待が高まります。

【お問い合わせ】
今井建具店
(代表：今井登さん)

〒959-1151-3

南浦原郡田上町大字河船河甲

TEL・FAX

025615216786

771-11

親子2代 建具職人を目指して

創業者の今井登さんは、地元田上町を拠点に、昭和46年に木製建具製造業の「今井建